

第32回 全国キリスト教学校人権教育セミナー

尊厳をとり戻す！

～大切なあなたとともに～

2022年 8月16日(火)～18日(木)

日本基督教団 神戸聖愛教会



主催

第32回全国キリスト教学校人権教育セミナー実行委員会

(メールアドレス zenkiri2019@gmail.com)

全国キリスト教学校人権教育研究協議会

(ホームページ <http://zenkiri.junyx.net>)

【開催の目的】

- ① コロナ危機の中で明確になってきた人権教育の課題について学び、理解を深めると共に、それぞれの現場での取り組みについて考える。また情報交換し、励まし合う。
- ② キリスト教学校および公私立学校で人権教育に関心を持っている教職員、また人権教育に関心を寄せるキリスト者・市民・保護者・学生の出会いの場をもつ。
- ③ 人権教育の実践に学び合い、分かち合い、建設的な関係を築く。
- ④ キリスト教学校での人権教育のあり方を探求し、人権教育の広がりを作る。

第32回全国キリスト教学校人権教育セミナー要項

尊厳をとり戻す！～大切なあなたとともに～

役立つかどうか、経済的価値があるかどうか、人に関わる場にもそんな「基準」がいつの間にか忍び込んでいるのではないのでしょうか。あなたも私もここにいるだけで尊い。コロナ危機の中で見失われている人間の尊厳を、教育の場でどう取り戻してゆけるでしょうか。

様々な課題の当事者の声に学びつつ、子どもも学生も教職員も、お互いを、さらにはすべてのいのちを大切にする者となってゆく教育への道を探りましょう。

- 日程 2022年8月16日(火)17時～18日(木)12時半
- 会場 日本基督教団神戸聖愛教会(神戸市中央区生田町1-1-27) 新幹線・地下鉄「新神戸」より300m
- 参加費(フィールドワーク・オプションツアー費用と共に、事前振込をお願いします)

出張参加 15,000円 / 自費参加 13,000円 / 学生 3,000円
オンライン参加 8,000円(学生はオンラインも3,000円)

★フィールドワークやオプションツアーに参加される方はその参加費をプラスして送金してください。
ただし、当日、別途交通費(電車賃等)が必要な場合があります。

フィールドワーク参加費2,000円 / オプションツアー参加費2,000円

*7月22日(金)までに事前振り込みをお願いします。

*参加費にはセミナー諸費用、ニュース購読・協議会運営協力費が含まれます。

- 申込み・振込締切 **7月22日(金)**までに、下記申込み専用サイトよりお申し込みください。

*締切日を過ぎた申し込みはお断りします。

*オンライン参加を申し込まれた方には、1週間前までに郵便でハンドブック(資料集)と案内を郵送します。

申込書には夏休み中でも郵便物を受け取れる住所をご記入ください。

*2日目午後の分科会は、参加人数を調整する場合があります。フォームに第二希望までご記入ください。

- 申込み専用サイト <https://forms.gle/KivpVKEWG17YWPqe6>

*当協議会ホームページ(<http://zenkirijunyx.net>)からもアクセスできます(全キリで検索)。

また、QRコードを読み取ってのアクセスもできます。



*パソコンやスマホを使用しない方は、電話 03-3203-0731(NCC 教育部)にご相談ください。

- 参加費振込先 郵便振替口座 00180-3-731838

加入者名 人権教育セミナー実行委員会

*「2022 セミナー参加費」と記入してください。

- 宿泊 各自でご予約ください。

- 問合せ先 メールで zenkiri2019@gmail.com にお願います(2019 ですが今年度も使用します)。

- 主催 第32回全国キリスト教学校人権教育セミナー実行委員会／全国キリスト教学校人権教育研究協議会
- 後援 神戸学生青年センター／カトリック大阪大司教区社会活動センター・シナピス／カトリック大阪教会管区部落差別人権活動センター／日本カトリック学校教育委員会／キリスト教学校教育同盟／全国在日外国人教育研究協議会／日本カトリック学校連合会／キリスト教保育連盟／日本キリスト教協議会(NCC)教育部
- 賛同 日本基督教団兵庫教区／外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会／日本カトリック正義と平和協議会／日本カトリック部落差別人権委員会／在日韓国人問題研究所／在日大韓基督教教会社会委員会／マイノリティ宣教センター／日本キリスト教協議会(NCC)／日本キリスト教協議会在日外国人の人権委員会／日本基督教団在日韓国・朝鮮人連帯特設委員会／日本キリスト教協議会部落差別問題委員会／日本基督教団部落解放センター／日本キリスト教婦人矯風会平和部門／日本聖公会人権問題担当者／日本バプテスト同盟／日本バプテスト連盟日韓・在日連帯特別委員会／日本バプテスト連盟部落問題特別委員会／日本YWCA／部落問題に取り組むキリスト教連絡会議(2022年6月現在)

第32回全国キリスト教学校人権教育セミナー 日程

一日目 8月16日(火)

午後	フィールドワーク(事前申込のみ。当日参加申込はできません。) A. 賀川豊彦の足跡を批判的に学ぶ B. 日朝関係史に出会う C. 震災の記憶に出会う D. 戦争の歴史に出会う
17:00-17:45 17:45-18:15 18:15-18:45	開会礼拝：宮内陽子さん 基調報告・オリエンテーション 証言～ミャンマーから～：マキン サンサン アウンさん 解散・各自で夕食

二日目 8月17日(水)

09:00-09:15 09:15-11:20 11:20-13:00	朝の祈り(黙想) 講演：桜井智恵子さん 「教育は社会をどう変えたか—『能力に応じて』の向こうへ—」 (質疑応答あり) 昼食休憩(近隣の飲食店などで各自お済ませください)
13:00-16:30	分科会 ※①と③は会場参加のみ ②④⑤⑥はオンライン併用 ①皮革の歴史と結ぶ部落学習 発題：金澤浩良さん・北村智也さん ②すべての子どもが輝く多文化共生社会の実現のために —学校での人権課題に向き合う 発題：太田詳次郎さん 樋口正和さん ③わたしにとっての“あたりまえ”、あなたにとっての“あたりまえ” 発題：藤井航さん ④「慰安婦」問題を子どもにどう教えるか 発題：平井美津子さん ⑤「障がい」を問い直す 発題：河合進一さん ⑥「沖縄とヤマト」から考える平和と人権 発題：西浦昭英さん

17:00-18:00	聖書研究：上内鏡子さん 協議会総会 ※軽食配布 交流会
18:15-18:45	
19:00-19:45	

三日目 8月18日(木)

09:00-09:15	朝の祈り(黙想) 全体会(シンポジウム) 鼎談：桜井智恵子さん 河合進一さん 鳥井新平さん
09:15-10:45	
10:50-11:50	分かち合い 派遣礼拝：横山順一さん
11:50-12:30	
午後	オプションツアー「『 ^{ひめじがわ} 姫路革』に出会う」

《プログラムの内容》

一日目

【開会礼拝】メッセージ 宮内陽子さん(全キリ運営委員/神戸・南京をむすぶ会代表)

開催地神戸のカトリック学校で、戦争と平和について生徒と共に学んできた宮内さんに、その活動の根にあるイエスの言葉からのメッセージをいただきます。

【基調報告】相澤弘典さん(実行委員長/頌栄短期大学院長・宗教主事)

前回セミナー以後のこの1年間をふり返り、人権教育の現状と課題、今回のセミナーをどのように準備してきたか、どんなセミナーを作ってゆきたいか、実行委員会から報告します。

【証言】マキン サンサン アウンさん(日本バプテスト同盟高槻教会牧師)

この時代に尊い命が落とされ続け、生きる居場所が奪われ、その叫び声でさえ消されている現実があります。弱くされているものの知恵と勇気から非暴力抵抗への道を歩み続けている人々がいます。

- ・ミャンマー国の紹介
- ・今ミャンマーでなにが起きているのか
- ・ミャンマークーデター前と現在、これからの歩みと希望
- ・ミャンマーの人々と共に生きることを考える「アトゥトゥ(一緒に)」の活動紹介

二日目

【朝の祈り】

奏楽と式文による（短時間の）朝の黙想 ～米国製リードオルガン（1907年製）使用～

【講演】教育は社会をどう変えたかー「能力に応じて」の向こうへー

講師 桜井智恵子さん（関西学院大学人間福祉学部教員）

もし、あなたが「熱心な」教師だとしたら、立ち止まって考えてみませんか。その忙しさが新自由主義の歯車の一つであることを。もしあなたが「善良な」市民だとしたら、批判的な視点を獲得してみませんか。若者の政治意識の低さと地続きにある大人社会の闇の中で。もしあなたが「心優しい」子どものパートナーだとしたら、本当に将来、この社会に大切なことを語り合ってみませんか。ソフトな優生思想が浸透している世の中を見すえて。桜井智恵子さんのお話は教育の話が教育の中だけで完結するものではありません。子どもたちへの支援を美談で終わらせるものではありません。わたしたちひとりひとりの人としての尊厳をとりもどす斬新な「問い」であり、教育とは本来、喜びに満ちた「社会協同的な営み」であることへの招きです。

【分科会】

第1分科会 皮革の歴史と結ぶ部落学習

コーディネーター：船木暢夫さん（アサンブション国際中学高等学校教員）

発題者：北川智也さん・金澤浩良さん（姫路市立東小学校教員）

この分科会では、被差別部落を皮革産業と重ねてとらえ直す学習を提起します。人間の生活と強く結びつく皮革や^{にかわ}膠・コラーゲン製造など「重要な仕事を担ってきた部落」を知ることは、部落を理解し差別を否定する上で大切です。公立校の実践に学び、キリスト教学校での学習スタイルをともにつくる実践的な分科会にします。

第2分科会 すべての子どもが輝く多文化共生社会の実現のためにー学校での人権課題に向き合うー

コーディネーター：宮内陽子さん（全キリ運営委員）

発題者：太田詳次郎さん（川西市立加茂小学校教員） 樋口正和さん（小林聖心女子学院中学校・高等学校教頭）

現在の日本は100人のうち4人が外国にルーツを持つ人々であり、急速に多文化社会へと変わりつつあります。しかしヘイトクライムの頻発を見ると、続く経済不況の中で排外的意識が強まっているように感じられます。様々な背景を持つ人々との真の共生を実現するためには、とりわけ外国につながる子どもたちの教育において、当事者のアイデンティティなどを育むと共に「日本社会の人権課題」であるという認識を持った取り組みをおこなうことが急務です。太田さんは公立小学校で、樋口さんはカトリック中高等学校で、外国につながる子どもたち、日本の子どもたちと向き合い、日々考え、実践を積み重ねておられます。お二人から一人の教員、また学校として地域や行政との連携を図りながら、すべての子どもが生き生きと学校生活を送ることができる多文化共生社会実現のための教育をどのようにつくっていくのかについて語っていただきます。

第3分科会 わたしにとっての“あたりまえ”、あなたにとっての“あたりまえ”

コーディネーター：土井直彦さん（ノートルダム女学院 教育相談カウンセラー）

発題者：藤井 航さん（関西学院高等部非常勤講師）

性やセクシャリティは「個別的」なことであるが故に「個人的」なこととして、「マイノリティ」の問題として、捉えられがちです。私たちが人権を語る時、それは同時に共に歩む「隣人」の言葉にどれだけ耳を傾けるかということが求められます。一人の人間と一人の人間が出会っていく中で、「性」のこと「セクシャリティ」のことを通して相手を理解するための機会として、この分科会を設けました。

第4分科会 「慰安婦」問題を子どもにどう教えるか

コーディネーター：吉田絵理子さん（広島女学院中高非常勤講師）

発題者：平井美津子さん（子どもと教科書大阪ネット 21 事務局長 大阪府公立中学校教諭）

植民地支配のもとで行われた「慰安婦」の強制動員の事実を子どもたちはどのように学び考えたかということや、現在の民族差別（ヘイトスピーチやヘイトクライム）問題などとも結びつけ、今日的な問題として戦争責任や植民地支配責任を考えていく授業を提案したいと考えています。

第5分科会 「障がい」を問い直す

コーディネーター：山本秀樹さん（子どもの虐待防止ネットワークあいち(CAPNA)）

発題者：河合進一さん（マッサージ師・ベース奏者・重複障害者支援・IT 会社経営）

障がい者と言ってもそれは一言で語りきれものではありません。

私（河合進一）が今取り組んでいることの一つに盲学校を卒業した視覚障がい者、および他の障がいを併せ持つ重複障がいの方の支援活動があります。色々な人を巻き込みながらの作業です。そのこと自体が「私の居場所作り」です。支援しているつもりの私の心がほぐされていくことに気づく、そんな一コマを皆様と共有したいと思います。

第6分科会 「沖縄とヤマト」から考える平和と人権

コーディネーター：古口初穂さん（大阪女学院中学校・高等学校教員）

発題者：西浦昭英さん（沖縄・名護在住、元聖学院中学高等学校教員）

私たちは、沖縄で起きる事故や事件、辺野古新基地建設の実態について、限られた報道によってしか知ることができません。埋め立て予定地の大浦湾は、マヨネーズ状の軟弱地盤が広がり建設不可能との専門家の意見が出ているのに、埋め立て工事が強行されています。こうした沖縄で起きている諸問題は、沖縄に対するヤマト（本土）の差別と無関心に起因しています。歴史を振り返りつつ、平和と人権の視点から一緒に考えたいと思います。テーマは「沖縄」ですが、参加者からの沖縄以外の平和や人権の実践報告も期待をします。なお、発題者は2年前に退職して沖縄に住まいを移し、日々非暴力の抵抗行動に参加しています。

【聖書研究】上内鏡子さん（日本基督教団神戸イエス団教会牧師）

大学卒業後、フィリピンでストリートチルドレン支援に携わった後帰国。現在、神戸イエス団で牧師を務める上内さんに、聖書を読み解いていただきます。

賀川記念館及び神戸イエス団教会は、2009年の賀川献身100年に、これまでの歴史を検証し現代の社会に仕えることができるように歩み直しをしています。2、3年かけてミッションステートメントを作成、子どもや障がいを持った方、高齢者の方々にもわかりやすい言葉に工夫し、二府四県に広がる約40の施設にそのプレートを配布、常に意識を高めるようにしています。また賀川記念館では、地域の方々への奉仕はもちろん部落差別問題についても、他の課題とともに定期的に学ぼうとしています。

【全国キリスト教学校人権教育研究協議会(全キリ)総会】

全国キリスト教学校人権教育セミナーは1990年から始まり、毎年8月のセミナーを継続する中で、1994年に「全国キリスト教学校人権教育研究協議会」を結成しました。以来、現地実行委員会と共に毎夏の全国セミナーを企画・開催しています。総会ではこれまでの活動報告を受け、これからの取り組みをみんなで考えてゆきます。セミナー参加者は協議会員になりますので、総会にぜひご出席ください。

【全国交流会】

コロナ感染防止に留意しつつ、少しでもお互いの存在にふれあう交流の時間を作りたいと願っています。よい出会いのきっかけになりますように。

三日目

【朝の祈り】

【全体会】シンポジウム：桜井智恵子さん・河合進一さん・鳥井新平さん(近江平安教会牧師)による鼎談

前日の講演や分科会で提起された課題を、被差別経験の当事者や支援者、さらに聖書の視点から率直に問い直し解きほぐし、わたしの問題につなげてゆきます。

【分かち合い】

このセミナーに参加して感じ考えたこと、各分科会で提起された課題、疑問や問いかけ、今後への思いなどを語り合い共有します。

【派遣礼拝】メッセージ 横山順一さん(日本キリスト教団東神戸教会牧師)

本当のセミナーはこの3日間のプログラム終了後、それぞれの場所で始まります。あなたのセミナーが、ここで出会った豊かなつながりの中で営まれますように。主イエスから派遣され、希望をもって現場へ出て行きましょう。

★書籍販売

会期中「ロシナンテ社」による書籍販売コーナーを設けます。

ロシナンテ社は京都の一人出版社。市民運動雑誌『月刊むすぶ』を発行。

東日本大震災後の『むすぶ』はフクシマに焦点を絞っています。

毎年、セミナーのテーマに関連する書籍を多数揃えてくださいます。



フィールドワーク

Aコース: 賀川豊彦の足跡を批判的に学ぶ (定員 10 人)

案内者: 小野 歩さん(社会福祉法人イエス団賀川記念館職員)

集合時刻/13時30分 集合場所/賀川記念館 4F(神戸市中央区吾妻通 5-2-20) 終了予定/16時

賀川豊彦は大正・昭和期のキリスト教社会運動家・社会改良家・牧師。生活協同組合運動等に大きな足跡を残しました。しかし一方で、差別的な思想のもとに書かれた著書が厳しい批判を受けています。そのような歴史を誠実に検証しつつ賀川の事業を継承しておられる現場を訪問します。私たち自身を問い直すフィールドワークを共につくりましょう。

Bコース: 日朝関係史に出会うー二つのモニュメントを訪ねて (定員 10 人)

案内者: 飛田雄一さん(神戸学生青年センター理事長)

集合時刻/12時30分 集合場所/神戸電鉄湊川駅改札口 終了予定/14時30分

神戸電鉄敷設工事中の事故のため亡くなった朝鮮人労働者の記念像と、強制連行された朝鮮人・中国人が神戸港での過酷な労働を強いられ亡くなった歴史を今に伝える「神戸港平和の碑」を訪ね、国際都市神戸に刻まれた歴史の掘り起こしに関わってこられた飛田さんから説明をお聞きします。若い世代への歴史認識の継承、現代の日朝・日韓関係を学び、教える上で留意すべきことなどを、感じ、考える時にと願っています。

●交通費: 神戸電鉄 湊川駅～新開地～阪神電車 元町駅 130円

●「神戸華僑歴史博物館」や「戦没した船と海員の資料館」の見学ができるよう、14:30頃、現地で解散します。16:30までに神戸聖愛教会においでください。

Cコース: 震災の記憶に出会う「阪神淡路大震災碑巡り～27年前を思い出しつつ～」 (定員 10 人)

案内者: 坪井 智さん(松蔭中学校・高等学校チャプレン)

集合時刻/13時 集合場所/松蔭中学校・高等学校チャペル 終了予定/16時

慰霊碑は、亡くなられた方々と出会える場所、過去を知り、向き合える場所、そして未来に向けて、教訓を伝えていく場所です。

阪神淡路大震災のみならず、色々な災害により苦しむ人は跡を絶ちません。彼らの痛みを自分の痛みとして感じる事が出来るように、ともすれば共感を忘れてしまいがちな私たちに楔を打ち、共に歩む恵みを与えてくれるように、慰霊碑の前で祈りませんか。そして、苦しむものと一緒に歩まれたイエス様が、行ってあなたも同じようにしなさいと言われていた声を一緒に聴きましょう。

Dコース: 戦争の歴史に出会う (定員 10 人)

案内者: 小城智子さん(神戸平和マップを作る会・神戸空襲を記録する会事務局長)

集合時刻/12時30分 集合場所/神戸市営地下鉄「大倉山駅」改札 終了予定/16時

交通費: 神戸高速線 西元町駅～元町駅 130円/JR 元町駅～三ノ宮駅 130円
神戸市営地下鉄三ノ宮駅～新神戸駅 210円

神戸は日本有数の港湾都市、観光都市ですが、近代においては多くの軍事工場を抱え、アジア太平洋戦争末期にはアメリカ軍の空襲の標的となりました。また朝鮮人や連合軍捕虜の強制労働の歴史も刻まれています。戦争体験者が語ることができなくなりつつある今、戦争遺跡を記録し、たどり、歴史を記憶することは、次の戦争への歯止めとなります。神戸市の隅々を歩き、戦争関連の様々なものを発掘し地図にまとめた小城さんの案内で神戸市中央区の石碑、遺跡を巡るフィールドワークにぜひご参加ください。各駅間は歩ける距離なので、天候の具合などによっては歩きます。

オフショツター

「^{ひめじがわ}姫路革」に出会う（定員 15 人程度）

案内: 小野 綾 さん(姫路市立城東小学校教員)

出発時刻／セミナー終了後すぐ姫路駅へ 16 時半頃 JR 姫路駅で解散

姫路の名産品として打ち出されている「姫路革」を担い、地域の小学校の見学を受け入れている皮革工場の一つを見学します。第 1 分科会での学びに繋がるフィールドワークです。3 日目のセミナー終了後に行いますので時間がある方にお勧めしますが、第一分科会参加者を優先します。

神戸聖愛教会への道案内

新幹線・地下鉄「新神戸」から 300m

JR、阪急、阪神は、三宮からバス 2 系統に乗り「^{ぬのびき}布引」で降車、100m
近隣にコインパーキングがあります（教会には駐車できません）



「全キリ グラウンド・ルール」とは、「人権教育セミナー」に参加されるすべての方たちが、セミナー中や終了後も不快な思いをせずに気持ちよく過ごすための基本的な約束事です。セミナープログラムはもとより、協議会の総会の進め方などにも適用される内容です。

(2009年8月6日発足、2015年8月17日改訂、2019年8月6日改訂、2021年6月オンライン版作成)

全キリ グラウンド・ルール

初めて参加される方への配慮と共に、以下の点についてどうぞご協力ください。

1. 無理のない範囲で、積極的に参加なさってください。

- ・お互いのペースや、うちとけ方を尊重しましょう。
- ・参加者が自由に話せるように、お互いに耳を傾けましょう。
- ・話したくないことは話さなくてかまいません。

2. 守秘義務を守ってください。

- ・セミナーで見聞きした個人情報は、その場のみにとどめてください。名前・所属・写真・事例などを、本人の許可なく他者に漏らすことは「アウトティング」となり許されません。
- ・いまインターネットではマイノリティに対する不当なスピーチがまん延しています。SNSをはじめ、ソーシャルメディアへの安易な投稿は避けてください。
- ・セミナー報告を他の媒体に掲載する際、とくにマイノリティ当事者が講師の場合、必ず本人の了解をとって報告記事をまとめるようにしてください。

3. セミナーにはさまざまな参加者がおられます。

- ・参加者の中には、自分とは異なる生活スタイル・価値観・問題をもっている人がいることを理解しましょう。
- ・自分の国籍・セクシュアリティ・経済的状況・職場の状況などを話したいとは限りません。
- ・自分と異なる意見に対して批判的になったり、決めつけたりしないように気をつけましょう。
- ・セミナーの目的からかけ離れた個人的な宣伝はご遠慮ください。

4. 言葉による暴力・セクハラ・パワハラは厳禁です。

- ・たとえ怒りなどの感情をもつことがあったとしても、それを他の参加者に向けて攻撃したりしないようお願いします。
- ・相手や当事者が不快に思う言動は、ハラスメントです。

セミナー中は、携帯電話をマナーモードに切り替え、他の方々の迷惑にならないようお願いします。

5. オンラインで参加するみなさんへのお願いとご注意

- ・ 正規の手段以外でミーティング ID や招待 URL を入手した方の参加は固くお断りいたします。
- ・ お互いの顔が見えるように、カメラは原則「ON」にしてください。
- ・ 発言される時以外は「ミュート」にしてください。
- ・ 個人での録画、録音、スクリーンショット等の撮影はご遠慮ください。主催者側が必要に応じて録画などの記録をとります。
- ・ 差し障りのない限り、画面には参加申込時の名前を表示してください。（正規の参加者と、そうでない方を判別するためです）
- ・ 参加者用リンクは、申込をされた方だけにお送りしています。他の方には公開なさないでください。
- ・ ZOOM の利用自体は無料ですが、参加や資料のダウンロードに関わる通信料などは各自の負担になります。スマホなどの料金プランによっては月の利用枠を使い切ってしまう可能性や、別途料金がかかる場合があります。ご自身でお確かめの上、ご参加ください。

（NPO法人ふれいす東京編集・発行の「グランド・ルール」他を参考にさせていただきました）